

地域バイオマス利活用交付金(ソフト事業)

東北農政局

都道府県	市町村名	地区名	事業実施主体名	事業内容	評価年度	目標	達成状況	個別成果指標	達成状況	総合評価			備考
										事業実施主体	市町村	農政局等	
【バイオマスタウン構想を策定するために必要な事業への支援】													
秋田県	由利本荘市	由利本荘市	由利本荘市	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・策定委員会の開催 ・先進地研修の実施 ・構想書概要版の作成・配布	H23	バイオマスタウン構想へのステップアップ年度:平成22年度	○	・策定委員会を4回開催し、構想の実現に向けた推進体制を構築 ・先進地研修結果をタウン構想に反映させる ・構想書概要版の作成・配付し啓発を図る(3000部)	○	平成22年度事業内容「バイオマスタウン構想策定委員会の開催」「先進地研修」「構想書概要版の作成・配布」及び個別成果指標を全て達成し、バイオマスタウン構想を策定したことにより目標は達成された。 現在、個別のバイオマスによっては、変換後の需給バランス調査や運搬関係コストの計算等既に利活用に向けた取り組みを開始しているものもある。 今後は、バイオマスの利活用状況について検証、検討を行うためのバイオマス利活用推進委員会を設置し、構想を基本としたまちづくりビジョンも含めて推進していく。	由利本荘市が事業実施主体であるため、評価内容は左に同じ。	本事業は、当該市のバイオマスタウン構想の策定を行うため、本バイオマスタウン構想策定委員会の開催、先進地研修、構想書概要版の作成・配布を事業内容としている。本事業に関し、5月26日付け事業実施状況報告と併せ評価した結果、事業内容をすべて実施し、構想書概要版を作成し市内高校5校や地球温暖化防止推進協議会等へ配布することで、市民に広く周知啓発を図るなど個別成果指標を達成しており、平成23年3月に由利本荘市バイオマスタウン構想を公表し、目標は達成されたと認められる。	
【バイオマスタウン構想に沿ったバイオマス利活用システムを実現させるために必要な事業への支援】													
秋田県	大仙市	大仙市	大仙市	1. バイオマスの利活用の推進 (2)プラットフォームづくり支援 ア、バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・協議会の設置・開催 ・先進地視察、バイオマス利活用研修 ・啓発パンフレットの作成 ・環境教育学習の実施	H23	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・大仙市バイオマス利活用推進協議会(仮称)の設置、開催 2回 ・先進地視察研修及び利活用研修の実施 2回 ・環境教育学習の実施 4回(30名) ・啓発パンフレットの作成 環境教育学習活用 1,500部 公民館利用者への配布 5,000部 予備 2,000部 計 8,500部 環境教育学習での活用や公民館(市内33カ所)へ配置して研修会等の開催時に利用者へ配布・周知し、市広報による啓発と併せて、市民への構想の浸透を図る。	○	平成22年度事業内容の大仙市バイオマス利活用推進協議会の開催、啓発パンフレットの作成、先進地視察研修及び環境教育学習を実施し、市民のバイオマスタウン構想及び利活用推進への理解を深め、構想実現に向けた共通認識が図られ、目標は達成された。 今後はバイオマスタウン構想の実現に向け、農業者や事業者への補助事業の周知等、引き続き啓発活動を推進していく。	大仙市が事業実施主体であるため、評価内容は左に同じ。	本事業は、当該市のバイオマスタウン構想の実現のための総合的な利活用システムの構築支援を行うため、大仙市バイオマス利活用推進協議会の設置・開催、先進地視察研修、啓発パンフレットの作成、環境教育学習を行うこととしている。本事業に関し、6月28日付け事業実施状況報告と併せ評価した結果、事業内容をすべて実施し、環境学習の参加者へのアンケート調査及びパンフレット配付先でのアンケート調査において「利活用の有効性を認識し、バイオマスタウン構想への理解を深めた」との回答を確認し、個別成果指標についても概ね達成すること等により、目標は達成されたと認められる。	
秋田県	大館市	大館市	大館市	1. バイオマスの利活用の推進 (2)プラットフォームづくり支援 ア、バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・協議会の開催 ・先進地視察 ・バイオマス利活用講演会	H23	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・協議会の開催 3回 ・先進地視察 1回 ・講演会 1回 (各種団体代表者、一般市民等)	○	平成22年度事業内容及び個別成果目標のすべてを達成し、木質バイオマスの利活用推進に向けた提言を取りまとめることができた。 今後は、バイオマスタウン構想の実現に向け、提言を実行していく。	大館市が事業実施主体であるため、評価内容は左に同じ。	本事業は、当該市のバイオマスタウン構想の実現のための総合的な利活用システムの構築支援を行うため、大館市バイオマス利活用推進協議会の開催、先進地視察、講演会の開催を行うこととしている。本事業に関し、6月27日付け事業実施状況報告と併せ評価した結果、事業内容をすべて実施し、個別成果指標を達成している。シンポジウムでの事例発表やパネルディスカッション、ペレットストーブの展示などから各種団体代表者及び一般市民等のバイオマスタウンへの理解を深め、協議会においては木質バイオマス利活用推進に向けた提言を取りまとめることができたことから目標は達成されたと認められる。	